

六小・富士便り

開校57年目 国立市立国立第六小学校

校長室便りNo.3 令和8年(2026年)6月8日

台風対応でのご理解とご協力に感謝！



先週の3日の水曜日、今年初めての台風対応となりました。保護者の皆様のご理解とご協力、また、ご判断に、心から感謝申し上げます。学校として、なかなか難しい判断となりましたが、台風における大雨の時の学校環境を改めて確認することができました。これからの対応に活かしてまいりたいと思います。どこまでいっても、子供たちの安全と安心、無事故が最優先となります。学校や市の判断だけでなく、保護者の皆様のご判断も大切なところです。これからも、台風や大雨による対応が考えられますので、今回行った時差登校を含めて、子供たちや保護者の皆様に安心いただける対応に努めてまいります。引き続きのご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

主体的で体験的・経験的な教育活動を目指して

<日光移動教室に行ってきます！>

最高学年の6年生は、今週の6月10日(水)～12日(金)の3日間、宿泊行事である日光移動教室に行ってきます。6年生では、移動教室の当日に向かって、学習活動や様々な準備に力を注いでいます。学年としては、1学期に行う大きな教育活動として、児童による主体的な取組や児童同士の関わり、校外における活動等、様々な体験や経験を積み重ねることで、六小の顔である代表としての姿勢や思いを高めてもらいたいと思っています。



日光移動教室での体験や経験は、中学校生活での主体的な学びや活動につながる大切な力となると捉えていますので、保護者の皆様には、子供たちへの温かい見守りとともに、様々な取組への頑張りに対する励ましの言葉を送っていただけますようお願いいたします。

日光移動教室の様子については、昨年度、6年生の保護者の皆様には、すぐーるを使って配信をいたしました。今年度も、できる範囲の中で配信予定(6年生の保護者対象)ですので、すぐーるの情報が日光移動教室の3日間は多くなりますが、ご了承いただければと思います。また、日光の気象や環境の状況によっては、臨機応変に予定を変更することもありますので、合わせてご理解の程、よろしくお願いいたします。

北秋田市立清鷹(せいよう)小学校との交流

昨年度から本校では、国立市と友好交流都市である北秋田市の「北秋田市立清鷹せいよう小学校」の5年生との交流を行っています。清鷹小学校は、本校と同じようにコミュニティ・スクールとなっていて、既に地域学校協働活動が確立しています。清鷹小の子供たちは、田んぼアート等で地域の方々と一緒に様々な活動や取組を行っています。

昨年の秋には、清鷹小の子供たちが手掛けた秋田のお米を本校に送っていただきました。北秋田市のお米と本校の5年生が稲作体験で作った国立市のお米をブレンドし、調理実習の授業で、ご飯を炊いて食べました。ブレンドして炊いたご飯は、いつもと違う味わいがあり、交流による体験の1つになりました。本校からは、お米をいただいたお礼として、六小と清鷹小をオンラインで繋ぎ、交流をしました。互いの様子を画像で見ながら、国立市の様子や学校の取組、敷地内に流れている矢川のこと等、それぞれの市や学校の特色を伝え合い、これからも交流を続けていくことを確認し

て終わりました。

今年度においては、現5年生の稲作体験を基にした交流の他に、昨年度、交流をした現6年生が当時約束した通りに、引き続き交流を行うことにもなりました。内容等は、これから相談して進めてまいります。本校と清鷹小を、オンラインでリアルタイムにやり取りすることで、直線距離で約520km以上離れている学校の隔たりを縮めながら、交流の絆を深めていきたいと思っております。

第1回 学校運営協議会から

令和8年度の第1回目の学校運営協議会を開催しました。本校は、この学校運営協議会を設置したことでコミュニティ・スクールとなりましたが、今年度で2年目です。昨年度においては、私が六小に異動して来たこともあり、学校運営協議会の皆様に、様々に情報発信や学校運営等について、あまりお示しができなかつたように思います。今年度は、学校運営協議会の委員の皆様に承認いただいた今年度の学校経営方針及び本校の教育課程の基に学校の取組の現状、教職員の状況等をお知らせすると共に、これからの学校運営協議会の課題として、以下3つのことをお知らせしました。学校運営を委員の皆様と協働した取組としていくための年間を通しての課題です。

- 学校評価の策定について（児童や保護者アンケート、学校評価アンケートの統一的な内容等）
- 学校体制について（学校内の仕事分担【校務分掌】の見直し、地域学校協働本部の設置）
- 開校60周年を目指した取組について（周年を目指した具体的な対応や取組他）

以上の内容等について、委員の皆様と共通の課題としながら、今年度以降の学校運営や教育活動を検討したり、計画したりしていくようにまいりたいと思っております。地域の皆様や保護者の皆様と協働できるよう様々に工夫をしてまいりますので、ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

配膳員の紹介

5月1日より、新しく配膳員が配置され、これで3名体制となりました。

お知らせが遅くなり、失礼いたしました。

よろしくお願い申し上げます。



【校長のつぶやき】

教員は、授業や子供たちの様々な指導や支援等を行うには、声を出して行うことが多いことは、お分かりいただけると思います。一時期、本格的に合唱や歌唱に頑張っていた私は、日常の仕事での声を出すことに、とても気を遣っていた時期がありました。声の出し方次第では、歌声に支障が出ることもあり、なかなか悩ましいことでもありました。また、声を鍛えている分、声の大きさも他の先生方よりも大きいこともあり、担任をしていた学級の子供たちも自然に声が大きくなったことも、今としては懐かしいところです。

声の出し方ひとつで、子供たちの行動や興味・関心も変わります。例えば、いつもの声の大きさをひそひそ声くらいの大きさにすると、子供たちは、結構集中して聞こうとします。また、教科書の読み聞かせや文章題などを話す時にも、文章の中で大切な場所やポイントのところで声の出し方や大きさ、トーンを変える等の工夫をすると、気付きが早かったり、ヒントになったりすることもありました。

教員という仕事と音楽活動の両立は、なかなか難しいところもありましたが、それぞれがそれぞれに大きな影響があり、教員人生にも音楽活動にも、プラスに働いたことは間違いありません。

これからも、声を大切にしてお子供たちに考えや思いが伝わる響きをもって話していきます。